

保護者の皆様  
地域の皆様

大阪狭山市立東小学校  
校長 尾島 肇

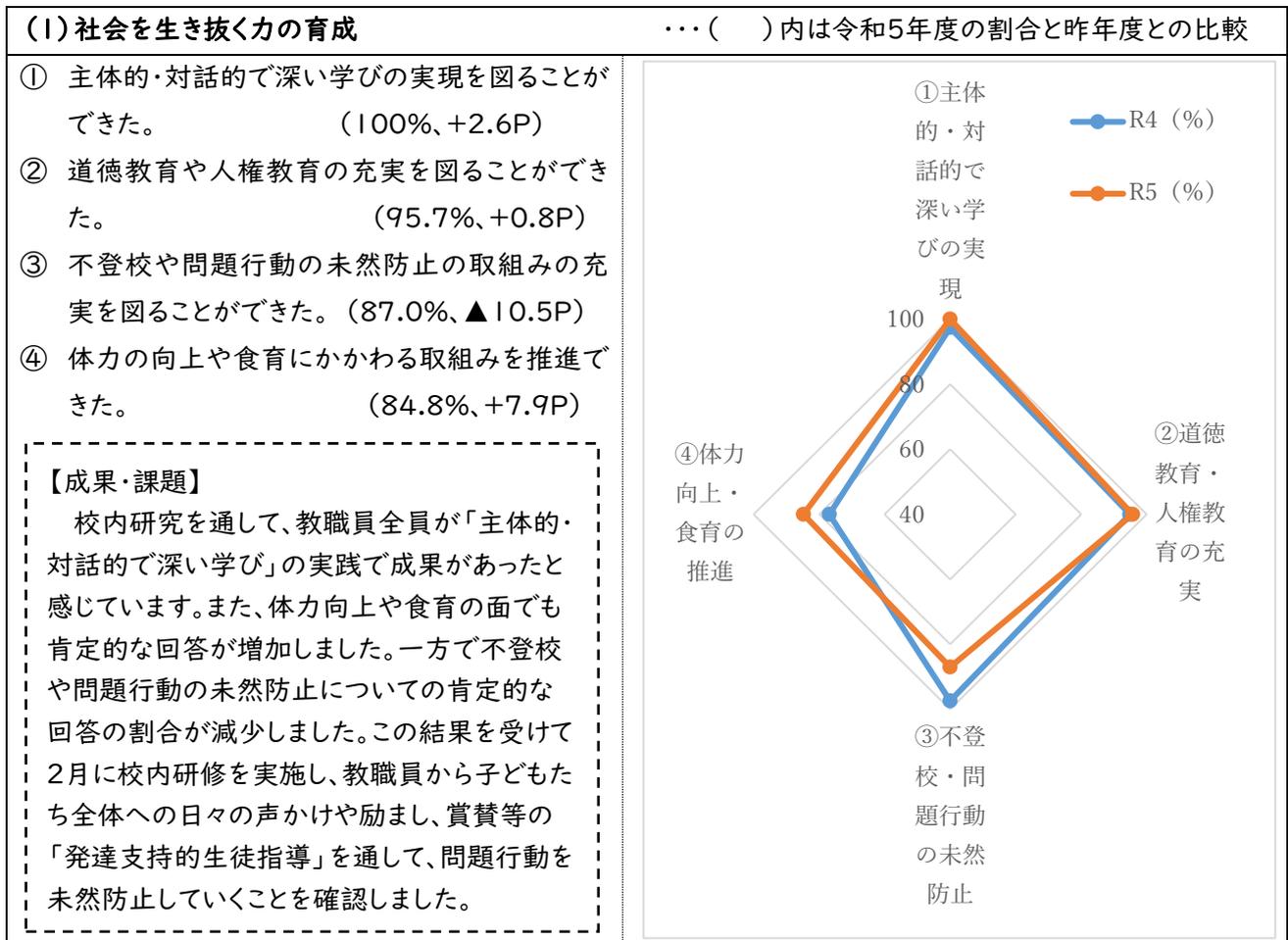
令和5年度 学校自己評価の結果について

令和6年1月に教職員対象「『令和5年度大阪狭山市保育教育指針』に基づくふりかえり」及び児童・保護者対象「学校評価アンケート」を実施し、本校の教育活動と学校運営の自己評価を行いましたので、結果をお知らせいたします。

保護者の皆様におかれましては、「学校評価アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。学校自己評価を通して把握した成果と課題については、次年度の取組みの工夫改善に活用してまいりますので、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

1. 「『令和5年度大阪狭山市保育教育指針』に基づくふりかえり」について

「『令和5年度大阪狭山市保育教育指針』に基づくふりかえり」において、各設問に対して肯定的な回答をした教職員の割合を算出し、今年度と昨年度の状況を比較しました。



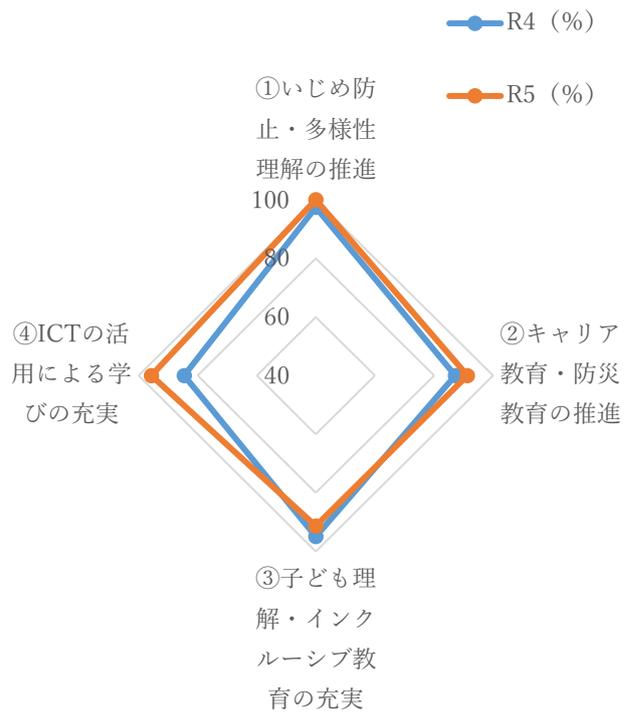
**(2) 一人ひとりを大切にす教育**

…( )内は令和5年度の割合と昨年度との比較

- ① いじめ防止や多様性理解を促進することができた。 (100%、+2.6P)
- ② キャリア教育や防災教育を推進することができた。 (91.3%、+4.1P)
- ③ 子ども理解とインクルーシブ教育の充実を図ることができた。 (91.3%、▲3.6P)
- ④ ICTの活用による、学びの充実を図ることができた。 (95.7%、+11.0P)

**【成果・課題】**

いじめアンケートやカウンセリング週間の取組みにより、全教職員がいじめ防止や多様性理解を促進できたと感じています。また、大阪府から指定を受けた「スマートスクール実現モデル校事業」の取組みにより、ICTの活用にかかる肯定的な割合が大きく増加しました。



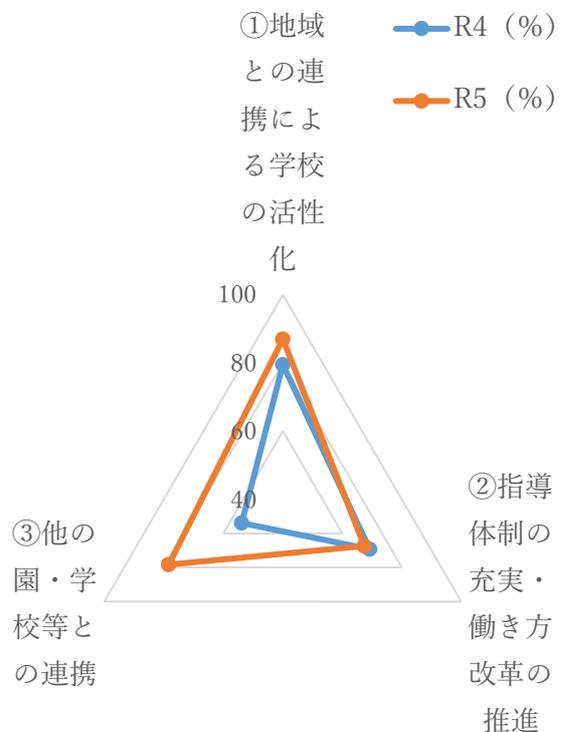
**(3) 保育・教育環境の充実**

…( )内は令和5年度の割合と昨年度との比較

- ① 地域と連携した取組みにより学校が活性化した。 (87.0%、+7.5P)
- ② 指導体制の充実や働き方改革の推進を図っている。 (67.4%、▲1.8P)
- ③ 他の園・学校等と連携を図ることができた。 (78.3%、+24.4P)

**【成果・課題】**

今年度は「東小応援団サポーターズ」が発足し、いろいろな場面でこれまで以上に保護者・地域の皆様のご支援・ご協力いただくことができました。このことにより、「地域連携による学校の活性化」の肯定的な回答が増加したと考えています。また、新型コロナウイルスにかかる教育活動の制限解除や、11月のまるごとパック学校公開事業により、他の学校園との交流の機会が増え、連携が促進されました。

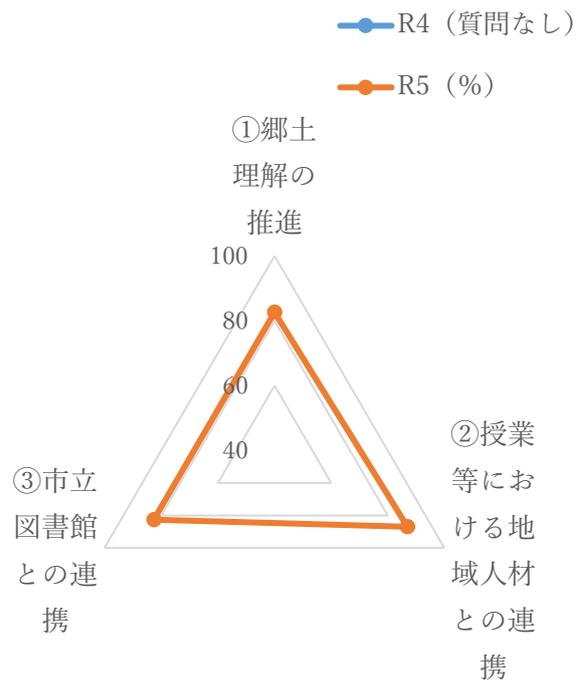


**(4)ふるさと さやま 学習**

- ① 郷土理解を深めるための学習の推進を図ることができた。 (82.6%、新規項目)
- ② 授業等において地域人材との連携による学習の推進を図ることができた。 (87.0%、新規項目)
- ③ 市立図書館との連携を図ることができた。 (82.6%、新規項目)

**【成果と課題】**

「ふるさと さやま 学習」は、今年度からの新規調査項目です。郷土理解学習や地域人材との連携に、今後も積極的に取り組んでまいります。また、大阪府から指定を受けた「小中学校における学校図書館の充実」事業による教職員と学校図書館担当職員との連携により、今年度は市立図書館の図書を授業でたくさん活用することができました。



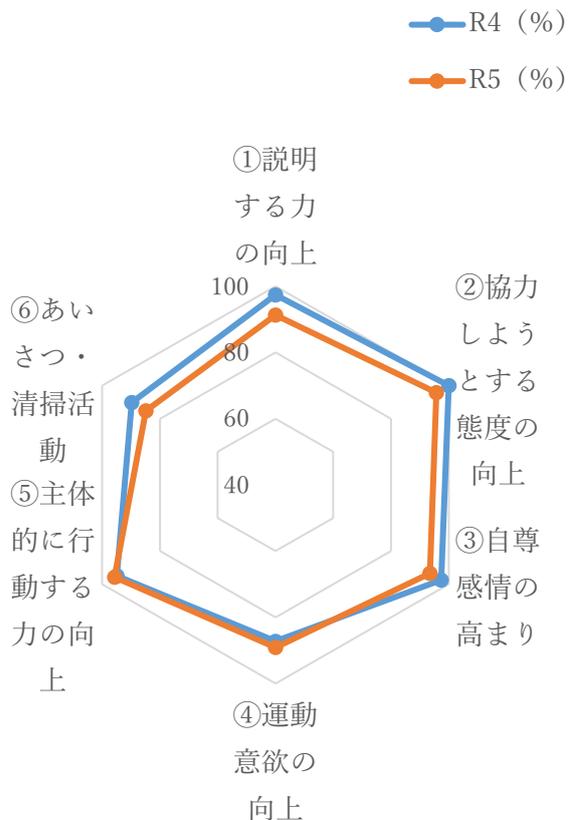
**(5) 子どもの変容**

…( )内は令和5年度の割合と昨年度との比較

- ① 説明する力が向上してきた。 (91.3%、▲6.1P)
- ② 協力しようとする態度が向上してきた。 (95.7%、▲4.3P)
- ③ 自尊感情の高まりがみられた。 (93.5%、▲4.0P)
- ④ すすんで運動しようとする意欲が向上してきた。 (89.1%、+2.0P)
- ⑤ 主体的に行動する力が向上してきた。 (95.7%、+0.8P)
- ⑥ 「あいさつ」「清掃活動」等がしっかりできるようになってきた。 (84.8%、▲5.0P)

**【成果と課題】**

「子どもの変容」については、各項目とも肯定的な回答の割合が高かった一方で、いくつかの項目で昨年度の結果を下回りました。「説明する力の向上」については、全国学力・学習状況調査の結果からも課題ととらえており、今後も教科を問わず、子どもたちが自分の考えを書いたり、発表したりする力を高めることができるよう、指導方法を工夫してまいりたいと考えています。

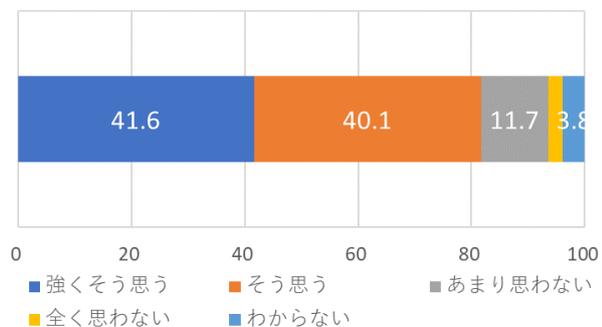


## 2. 「学校評価アンケート」の結果について

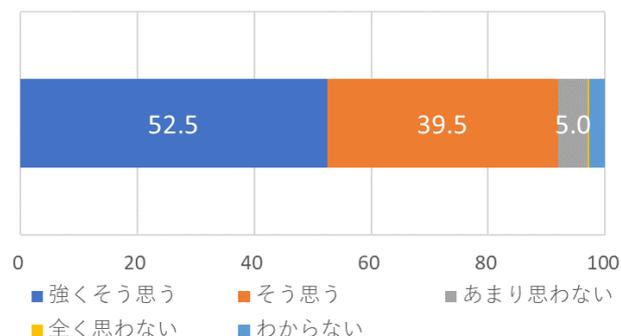
今年度は、1月の学校だよりでお知らせしたとおり、例年のアンケート項目の内容を一部見直して実施しました。

### (1) 児童アンケート

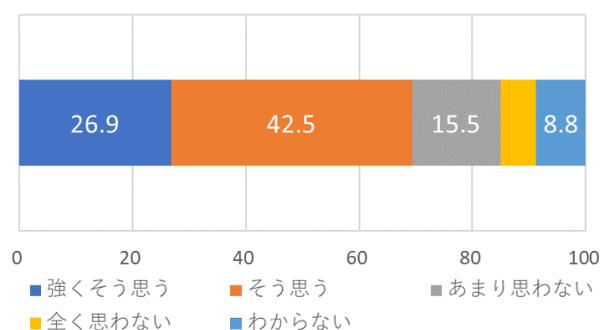
#### ① 学校に行くのが楽しい。(%)



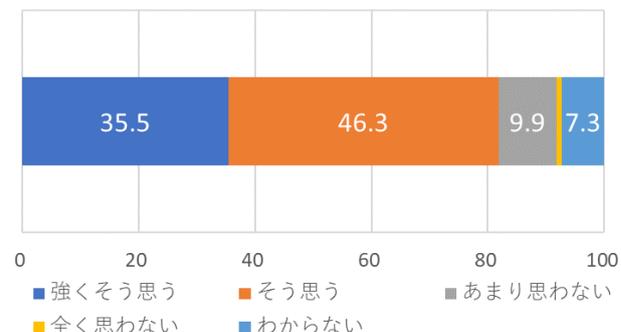
#### ② 先生はわかりやすい授業をしてくれている。(%)



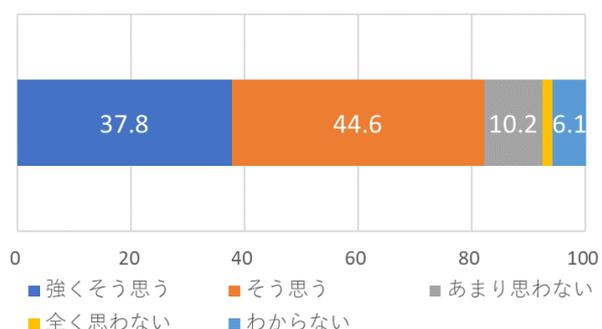
#### ③ いじめなど、困ったときには、先生に相談することができる。(%)



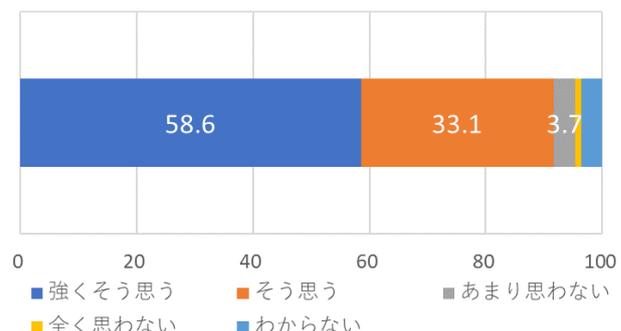
#### ④ 自分を大切に、友達への思いやりについて勉強することがある。(%)



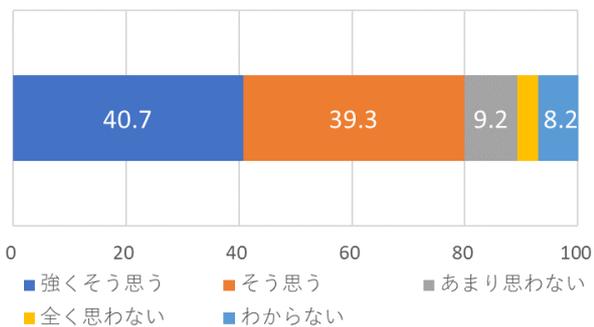
#### ⑤ みんなのルール(約束)について、勉強することがある。(%)



#### ⑥ あぶないこと(地震・火事・交通事故など)で身を守るためにどうしたらよいか教えてくれている。(%)



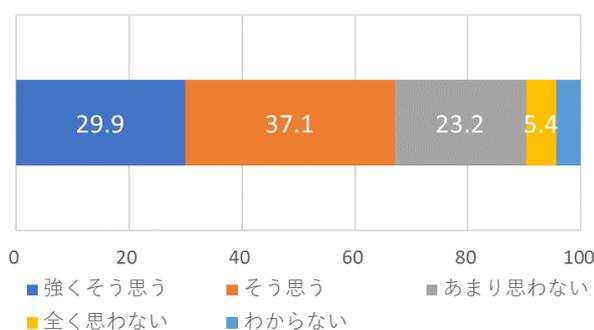
⑦先生や友だちに、自分が努力したことや、がんばったことを認めてもらえる。(%)



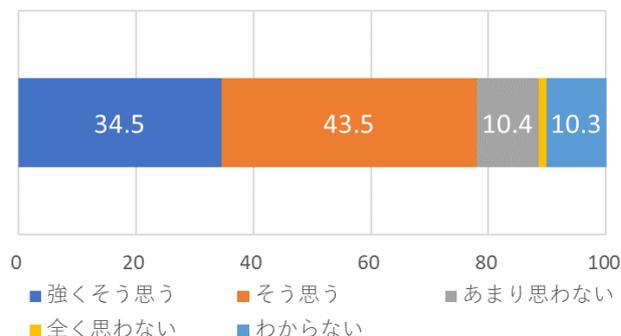
⑧気持ちよくあいさつすることをこころがけている。(%)



⑨授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。(%)



⑩授業では、自分で学習方法(ノートで・タブレットで、教科書で・デジタル教科書で、一人で・グループで・先生と)を選んで、自分から進んで取り組んでいる。(%)



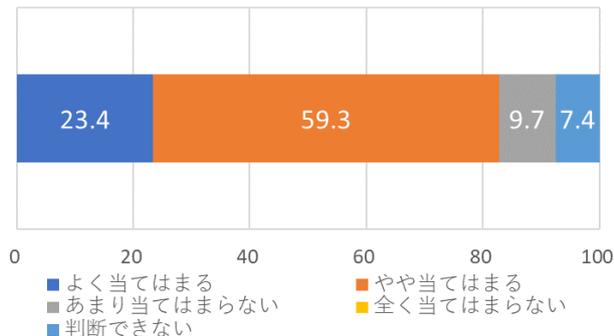
**【成果と課題】**

「②先生はわかりやすい授業をしてくれている」「⑥あぶないことで身を守るためにどうしたらよいか教えてくれている」「⑧気持ちよくあいさつすることをこころがけている」の質問では、「強くそう思う」と回答した子どもの割合が50%以上、「そう思う」を含めた肯定的な回答の割合は80%を上回りました。ICTを活用した授業づくり研究や避難訓練等の防災教育、黒山警察署等と連携した安全教育、地域や保護者の皆様にご協力いただいているあいさつ運動・見守り活動の成果によるものと考えております。

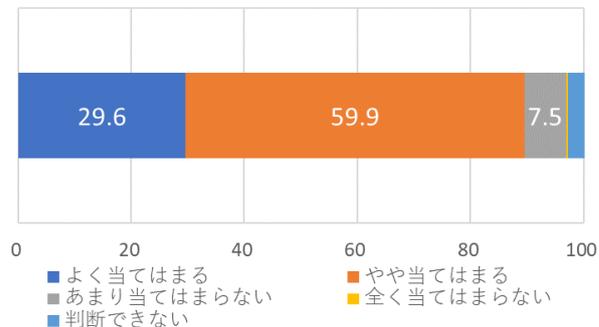
一方で、「③いじめなど、困ったときには、先生に相談することができる」「⑨授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることができる」で、「強くそう思う」と回答した子どもの割合が30%を下回り、「そう思う」を含めた肯定的な回答の割合も70%を下回りました。いじめや悩みごとの早期発見・早期対応に向けて、「自分からは先生に相談しにくい」と考えている子どももいることを念頭におき、タブレットによる毎日の健康観察(「元気メーター」)を活用しながら、教員から子どもたちへ積極的に声をかけていきます。また、引き続きカウンセリング週間やいじめアンケートの実施を通して、子どもたちの困り感の把握に努めてまいります。考えのまとめ・発表については、授業における課題解決や探究の場面を大切に、子どもたちの「発信したい・交流したい」という意欲を育む授業づくりに取り組んでまいります。

## (2) 保護者アンケート

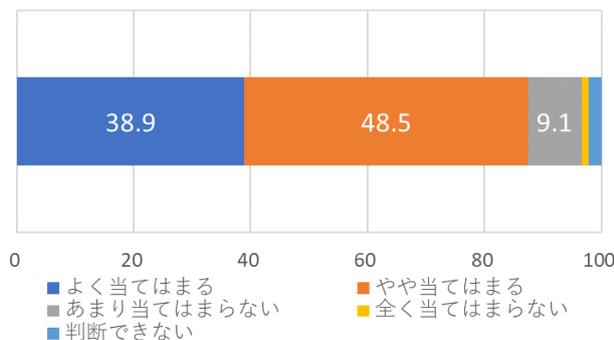
①学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(%)



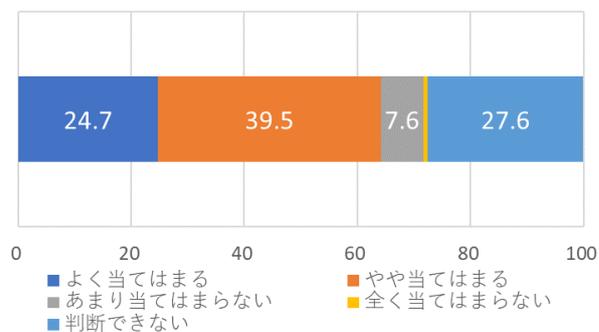
②学校は、保護者・地域と積極的に連携・協力している。(%)



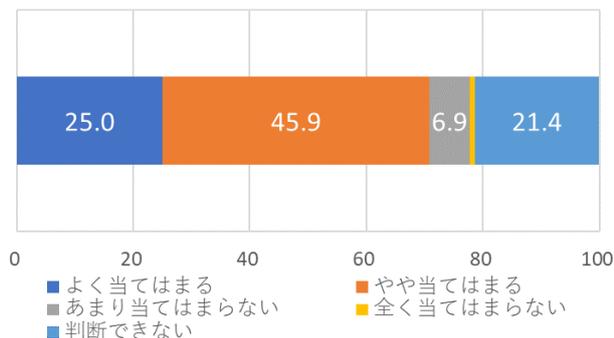
③子どもは、授業が楽しくよくわかると言っている。(%)



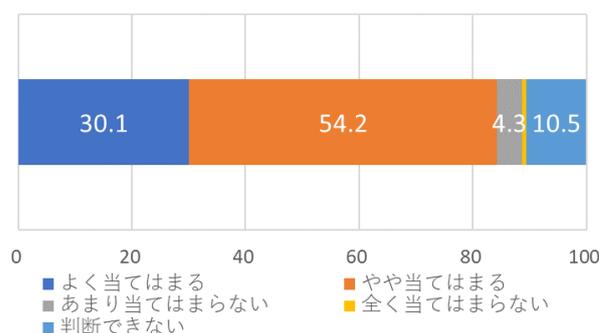
④学校は、いじめの未然防止やいじめを認知した際(疑わしい場合も含む)の対応に真摯に取り組んでいる。(%)



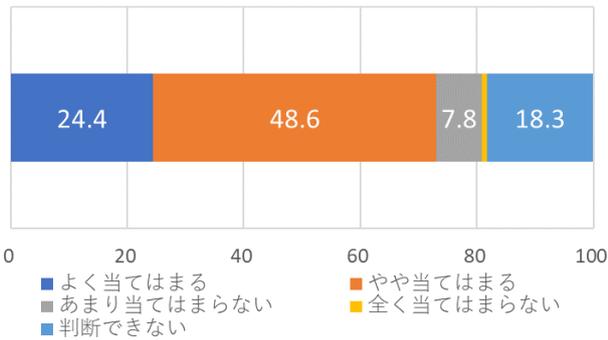
⑤学校は、「教え込む授業」から「学び取る授業」へ転換し、子どもたちが主体的に活躍できる授業づくりを推進している。(%)



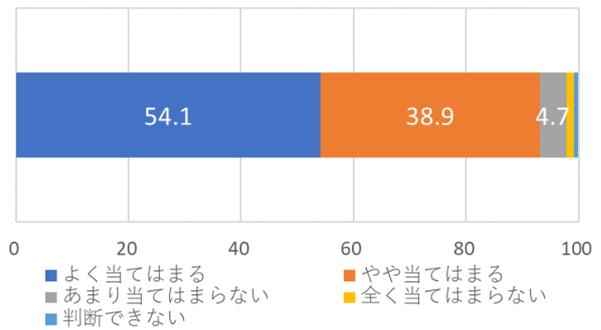
⑥学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守るなど、子どもの心を豊かにするための教育(道徳等)を行っている。(%)



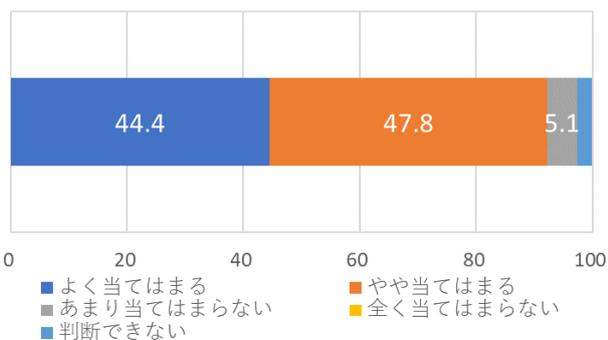
⑦学校は、発達段階に応じて子どもに人権を尊重する態度を育てようとしている。(%)



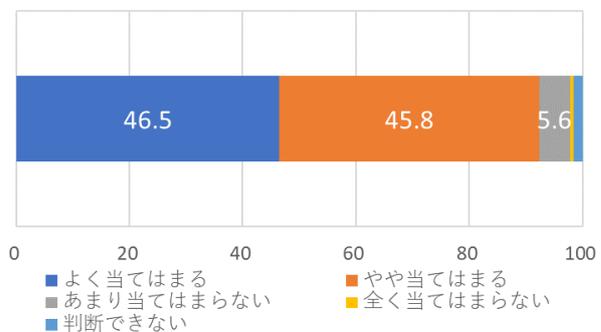
⑧子どものことで、必要がある時に担任や学校に相談できる。(%)



⑨学校は、事故防止や危機管理（不審者対応・天災・感染症等）に配慮し、その対応方法について子どもや保護者に周知をしている。(%)



⑩学校は、学校だよりやホームページ、学校一斉メールなどを通じて情報の発信に努めている。(%)



⑪ご意見コーナー（ご意見が複数あったものを中心に、一部を掲載しています）

- ・学校の規模に対して児童数が多く、児童ひとりひとりの事の把握が難しいように感じる。
- ・今年度は臨海学校中、保護者向けのブログ更新などがなく残念でした。
- ・不審者情報など、黒山警察からの安まちメールよりいつもだいぶ遅い。
- ・清掃活動を活発に。清掃は心を整える立派な学習です。東小学校全体が汚いです。古さはどうしようもありませんが、清潔さでカバーできます。清掃活動に取り組みませんか？
- ・宿題でスライドショーなどを作っているのを見ているのと、文章を考えるのに毎回苦勞しているようです。主に語彙力の未熟さが原因のように思われ、家庭学習での取り組みの必要性を感じると共に、学校でも語彙力強化に取り組んでいただくと子どもの表現力が上がるのではと期待いたします。
- ・地区委員の引継ぎの時に人が少ない地区が大変なので、他の多い地区と合体させるなどしてくれたら助かると思います。
- ・欠席の連絡を電話ではなく Google フォームなどでできるようにしてほしい。電話は先生方に時間的な負担があり、また保護者も連絡する時間を調整するのが負担です。
- ・新年度時の必要書類の簡素化を検討願いたい。毎年、同じ項目の記入。兄弟が居れば×人数となる。タブレット等の導入ができるのであればこれらもできるものとする。
- ・校外に出てもっと体験学習を増やしてたくさんの事を経験する機会を作ってあげるといいと思います。
- ・いつ聞いても学校が楽しいと教えてくれて安心して学校に通わせていただいています。参観などに行ってもクラスの児童が生き生きとしておりすごく楽しそうです。

### 【成果と課題】

「⑧子どものことで、必要がある時に担任や学校に相談できる」「⑨学校は、事故防止や危機管理（不審者対応・天災、感染症等）に配慮し、その対応方法について子どもや保護者に周知をしている」「⑩学校は、学校だよりやホームページ、学校一斉メールなどを通じて情報の発信に努めている」の質問では、「よく当てはまる」と回答した保護者の割合が40%以上、「やや当てはまる」を含めた肯定的な回答の割合は90%を上回りました。引き続き、家庭で気づかれたお子様の相談事があれば、気軽に担任や学年の教員までお声かけください。今後も子どもたちの事故防止や危機管理に努めていくとともに、学校だよりやホームページの内容充実に努めてまいります。

一方で、「④学校は、いじめの未然防止やいじめを認知した際（疑わしい場合も含む）の対応に真摯に取り組んでいる」「⑧学校は、『教え込む授業』から『学び取る授業』へ転換し、子どもたちが主体的に活躍できる授業づくりを推進している」の質問では、「判断できない」という回答が20%以上となっており、学校から保護者の皆様への情報提供の不十分さを感じております。いじめ対応や子ども主体の授業について、今後も取り組みを充実させていくとともに、保護者や地域の皆様への情報発信に努めてまいります。

